

ホール棟 変遷	第Ⅰ期 《ホール棟竣工時》		第Ⅱ期 《1回目増築時(推定)》		第Ⅲ期 《2回目増築時》		第Ⅳ期 《3回目増築時(現在)》		
年代	昭和期						平成期		令和
所有者	西武鉄道						H4 (1992)		30 (2018)
古図面・古写真	航空写真 (S27.11月) 図1 [別紙①-a] (S26~S30) 外観写真 [S27~S32] S27~S32と推定される 外観古写真あり (増築(1)の範囲が施工されているかどうかは確認することが出来ない)		米軍保養所 (S29.12月~S32.11月) 外観写真 [別紙①-b] (S29~S32) 		外観写真 [別紙②-c] (S44) 		外観写真 [別紙②-d] (S46) 		現況図 [別紙②-h] (現在)
改造等 内容	増築(1) 地下1階 厨房西 改修(1) 1階 ベランダを屋根改修		増築(2) 地下1階 厨房北 増築(3) 地下1階 東WC 改修(2) 地下1階間仕切改修		増築(4) 地下1階 北				
資料分析	・ホール棟竣工 (S27~S28) ・旅館として改造する図面であることから、図1は西武鉄道所有以降に作成された図面と判断される。		・増築(1)は古写真より、少なくともS29年~S32年には存在していたことが明らかだが、後補の増築範囲か、竣工時から存在していた範囲か不明。		・増築(2)、改修(1)は古写真より、S44年には施工されていたことが判る。また、増築(3)は古写真より、S46年には施工されていたことが判る。どちらも改造の詳細時期は不明。		・増築(4)は、S46~S63の施工と推定される。詳細時期不明。図2、3は、図の通りに施工された時期があるのか、改造の計画図なのか不明。		
現存建物との照合	・竣工時の1階床梁・軸組・小屋組は現存していると推定。地下1階の軸組は改造が多い為、北側の柱は一部撤去されている可能性が高い。		・増築(1)は西側外壁の一部が土留め擁壁となり、現存していると推定される。		・ベランダの当初床は、現況屋根下に残されている。増築(2)は地下1階天井上に、外壁ラインと同形状の天井痕跡が残る。増築(3)はほぼ現状の規模と推定される。		・ほぼ現状の姿と判断される。この時期に地下1階の北側外周柱が一部撤去され、鋼管柱に取り換えられたと判断される。		
復原考察	・現段階では、竣工時の規模・間取・仕上等、不明点が多いため、大掛かりな解体を伴う調査が必要		・増築(1)が後補増築かどうか不明だが、竣工時と同様に不明点が多い。		・竣工時と同様に、不明点が多い。				変遷表について ・建物の姿、形に関する情報のみ抽出して整理 ・変遷期の区分は、時期詳細が不明のものが多いため、大きなまとまりで設定している。 ・改造はしているが改造時期が確定できていない内容はグレー